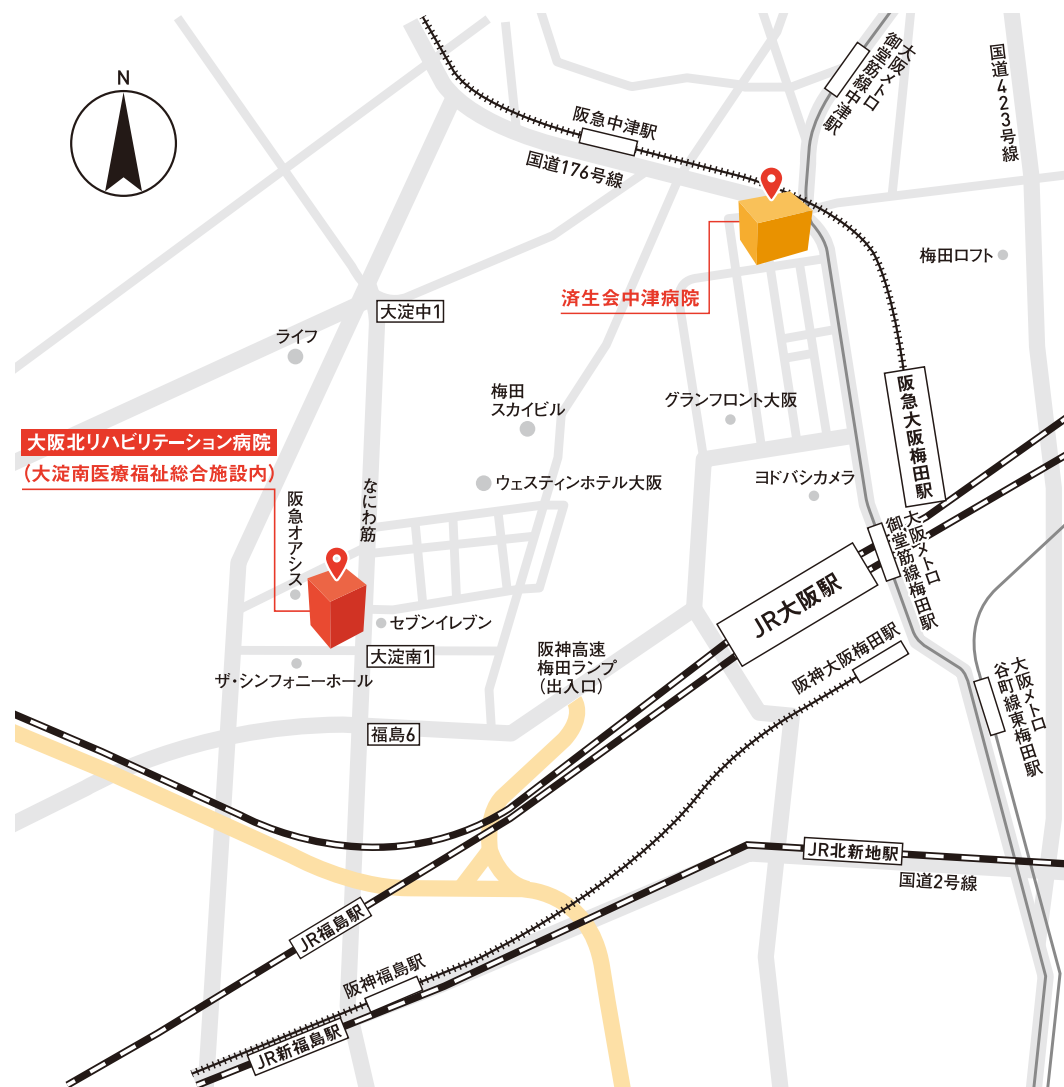




社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
大阪府済生会大阪北リハビリテーション病院

〒531-0075 大阪市北区大淀南2丁目2-51 TEL.06-6458-1011

交通アクセス

■JRでお越しの方

JR大阪環状線「福島」駅より徒歩約7分。
東西線「新福島」駅、1番出口より徒歩約9分。
JR「大阪」駅、桜橋口より徒歩約13分。

■阪神電車でお越しの方

阪神「福島」駅、2番出口より徒歩約9分。

■バスでお越しの方

大阪シティバス
大阪駅(12番乗り場〈JR東側ガード下〉)
41番系統「榎木橋行」大淀南1丁目下車すぐ。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部

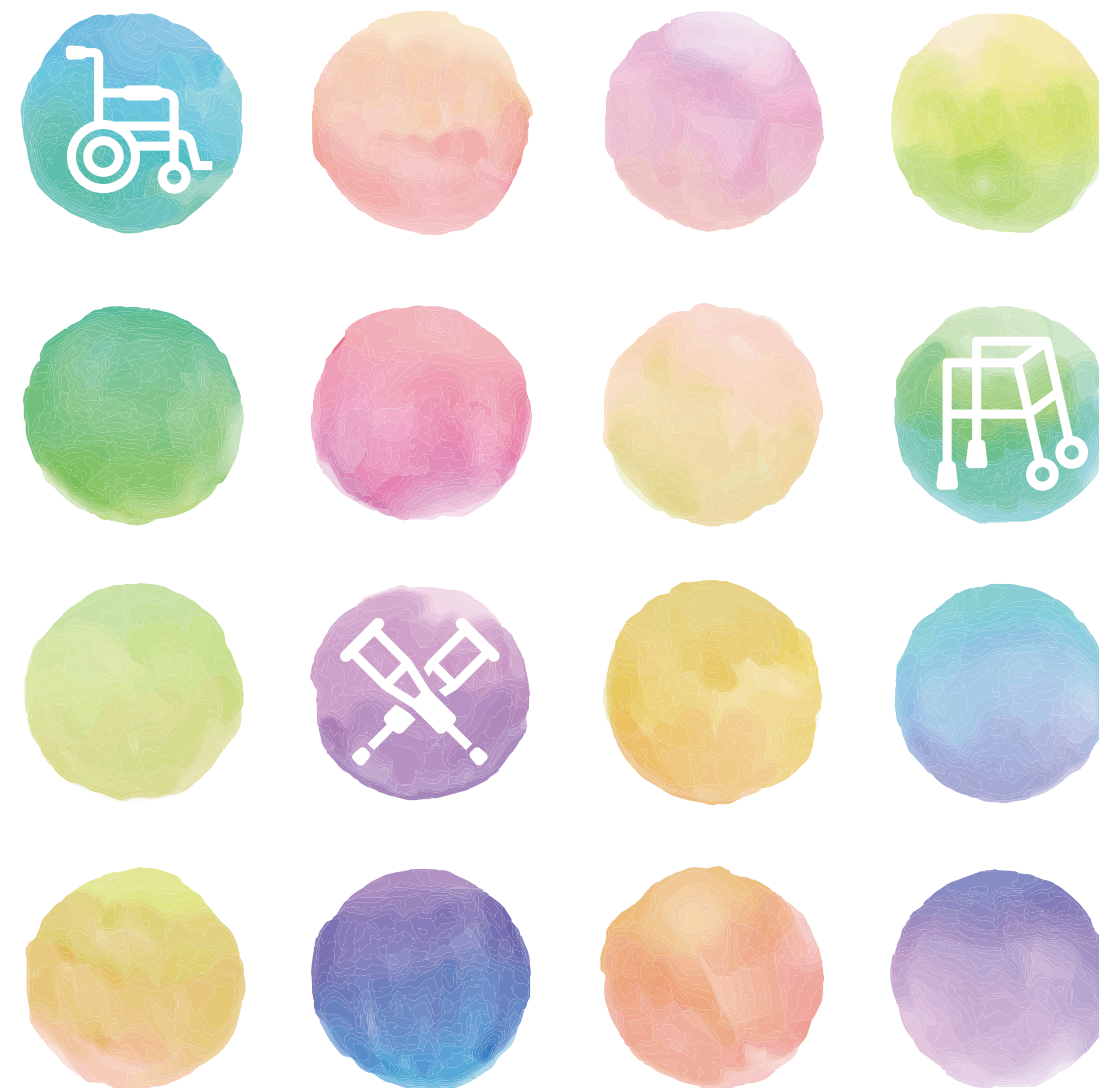
大阪府済生会中津医療福祉センター

関連施設 ●済生会中津病院 ●済生会大阪乳児院 ●中津特別養護老人ホーム 喜久寿苑
●大阪済生会中津看護専門学校 ●大阪整肢学院

大阪府済生会

大阪北リハビリテーション病院

Rehabilitation



Message 院長のごあいさつ

済生会大阪北リハビリテーション病院は、大阪府済生会中津医療福祉センターにおける病床機能分化のため、済生会中津病院の回復期病床機能を移設する形で2023年4月に開院した96床の病院です。脳卒中や骨折を患い、急性期病院で治療を受けられた患者さんが、その後にリハビリテーションを行う専門病院です。患者さんが、失われたさまざまな機能を回復し、ご自分らしくご自分の場所で生活できるために、新しい機能を作り上げていくお手伝いをさせていただくことが私たちの使命です。

本院はまだ生まれたばかりの病院ですが、多くの病院職員は開設準備が始まった段階から、いつでも、どこでもリハビリテーションができる施設を目指して、建物の設計や電子カルテの導入、そして診療プロセスを共に考えてきた済生会中津病院のスタッフです。引き続き同じメンバーでさらに洗練されたチーム医療を推進し、患者さんのスムーズな社会復帰や在宅復帰に寄与します。現状では、機能を失われた患者さんが、十分なりハビリテーションを行うための回復期病床が充足されていない状況です。私たちは地域の急性期病院や介護部門の皆様と協力し、回復期から生活期まで包括的な質の高いリハビリテーションを実施し、人を尊重した、心のこもった医療を提供します。

職員一同、新しい病院が地域の皆様に貢献できるように、精一杯努力をいたします。

今後の済生会大阪北リハビリテーション病院を、何卒よろしくお願い申し上げます。



院長 植田 真三久

病院理念

済生の心でリハビリテーションを通じて人々を幸せにします
「自分らしく自分の場所で生活するために」

基本方針

- ・人を尊重した心のこもった安全な医療を提供します
- ・質の高いリハビリテーション医療を実践します
- ・リハビリテーション医療を通じて地域社会に貢献します
- ・職員全員をつなぐ信頼と尊敬でチーム医療を推進します
- ・医療人のプライドを持って新たな価値を創造します



当院は無料低額診療事業実施病院です。
医療費でお困りの方はご相談ください。

Section 部門紹介



看護部

リハビリテーション病院では、日々の生活のそのものが「生活の練習」となります。朝目覚めてベッドに座り、立ち上がりトイレに行き排泄し、着替え、洗顔と歯磨きを行い、食事のあと運動し入浴やシャワーをします。普段は、これらの「行動」を何気なく行っています。しかし、病気やけがを負うと、当たり前の「行動」は驚くほどできなくなり、日常生活に多くの不便が生じます。できない状態からできる状態になるためには、繰り返し「行動」を練習することが必要不可欠です。健康状態が変化したとき、「行動」は身体にさまざまな影響を及ぼします。看護職員は患者さんの体調を把握し、重症化を予防しながら、栄養状態や睡眠も把握し、「行動」できる身体となるよう支えます。昼も夜も患者さんのそばで、患者さんが再び「自分らしく自分の場所で生活できる」ために24時間その生活を支えます。

栄養管理室

病院で提供する食事は、患者さんの性別・年齢・身長・体重・リハビリテーション状況などを目安に、リハビリテーションの効果を最大限発揮でき、病態や症状に最も適した食事の提供を行なっています。

また、かむこと・飲み込むことが十分にできない方に配慮した「咀嚼調整食」・「嚥下調整食」や食物アレルギーに対応した食事をご用意しています。その他、定期的なカンファレンスや栄養サポートチーム（NST）などのチーム医療にも参加し、他職種と協働して栄養管理を行なっています。

薬局

薬局は薬の専門家として、医師や看護師など多職種と連携しチーム医療を行なっています。また、大阪府済生会中津病院薬剤部と連携し、切れ目ない医療を提供します。全ての患者さんの服薬状況を確認した上で、薬学的な観点から安心・安全な医療を提供できるよう取り組んでいます。お薬の管理が困難な方には、一包化調剤を行い、錠剤やカプセル剤が飲みにくい方には、剤形変更や薬品の品質を考慮した個人個人に合わせた服用方法を支援し、アドヒアランスの向上に努めています。入院中や退院時には、お薬の内容や副作用について説明を行い、患者さんに寄り添い安心して治療に専念していただける医療を提供します。

本院のリハビリテーションについて

リハビリテーションの理念

- 地域・社会復帰を第一目標に、退院後の生活に焦点を当てたリハビリテーションの提供をします。
- 「その人らしい人生」を目指す援助を行います。

リハビリテーションの目指すところ

- 一人ひとりの生きがいや想いを大切にしながら共に目標に向かい、「まごころを込めたリハビリテーション」を提供します。
- お身体の状態に合わせ、リスク管理を行いながら安全にリハビリテーションが実施できるよう配慮し、個別の問題や要望に応じたリハビリテーションを提供します。
- 様々な職種のスタッフと一丸となって連携し、退院後の生活を不安なく送れるようサポートしていきます。

回復期リハビリテーション病棟とは

脳血管障害や整形外科の手術など、急性期で治療を受け、病状が安定し始めた1～2カ月後の状態を回復期といいます。この回復期に集中的な機能訓練を行うことで低下した能力を再び獲得するための病棟が「回復期リハビリテーション病棟」です。回復期リハビリテーション病棟は入院施設で、1日最大3時間の機能訓練を行います。回復力が高いこの時期に積極的な訓練を行うことが特に重要です。

リハビリテーション部門には理学療法・作業療法・言語聴覚療法があり、リハビリテーション医学を専門とした医師と看護師、介護士、社会福祉士等の専門スタッフがチームとなって協働し、患者さんやご家族と共に先の生活を考え、身体的、心理的、社会的な能力を最大限まで回復させることを目的としています。

起き上がりや歩行などの基本動作、食事やトイレなどの日常生活動作の向上を目指すとともに、在宅生活を想定しながら入院生活をより安全に過ごしていただけるよう、一人一人に合わせたリハビリテーションプログラムを組みます。

できる限りご自身の力で生活できるよう支援し、1日も早い家庭や社会への復帰を目指します。



理学療法室

開放感のある広い空間の中で、運動機能障害のある方に機能向上のための練習や、起居動作や歩行などの基本動作能力改善のための練習を行います。また、それらをサポートするマシンや物理療法機器、歩行補助具などを揃えています。



言語聴覚療法室

言語障害をお持ちの方に言葉の練習や、高次脳機能障害をお持ちの方などに神経心理検査や種々の課題などを行います。



作業療法室

作業活動を通して機能向上を図ったり、浴槽や和室などの模擬生活空間スペースにて、日常生活動作、家事動作の練習、仕事復帰を想定した練習を行います。また、集中して課題に取り組む時など多目的に使用するスペースもあります。



リハビリビング

平行棒やベッドなどを設置しており、リハビリテーション室に来室できない方でもこちらで機能向上のための練習や動作練習が行えます。

Schedule 入院中の過ごし方

患者さんの1日の
スケジュール(例)

起床、洗面、更衣

日常生活動作の改善に向け、整容動作・排泄動作・更衣動作を行います。朝は寝衣から着替えを行い、日中の生活を行います。介助が必要な患者さんはお手伝いします。

6:00

7:30

検温・検査・機能訓練

検温、血圧、脈拍など体調の確認を行います。患者さんに合わせたメニューで、訓練を行います。義肢装具や歩行補助具の調整・選定し、屋外歩行訓練、外出訓練などの日常生活に沿った練習を行います。週3回・シャワー等も行います。

午前中

12:00

面談

患者さん、ご家族、医療スタッフチーム（医師・看護師・セラピスト・管理栄養士・医療ソーシャルワーカー・介護福祉士）が現状の確認と今後の方針について話し合います。

午後

面会

13:00～所定の時間で面会を行っていただきます。

13:00

夕食

食事動作、食前・食後の内服。口腔ケアや排泄動作を含め、就寝に向けて寝衣に着替えるなどの準備を行います。

18:00

22:00

朝食

食事動作、食前・食後の内服。
リハビリテーションに必要なエネルギーを摂取します。口腔ケアや排泄動作を含め、リハビリテーションを行うための準備を行います。

昼食

食事動作、食前・食後の内服。
看護師、管理栄養士、リハビリテーションの病棟スタッフが、食事状況を確認、食事形態や栄養摂取評価を行い、必要に応じて調整します。

リハビリテーション、入浴、休息

それぞれの患者さんに合せたメニューで、訓練を行います。
寝返りや起き上がり歩行訓練から階段昇降、日常生活活動、家事、仕事、余暇活動、言語や嚥下、高次脳機能に対する訓練を行います。週3回・シャワー等も行います。

消灯

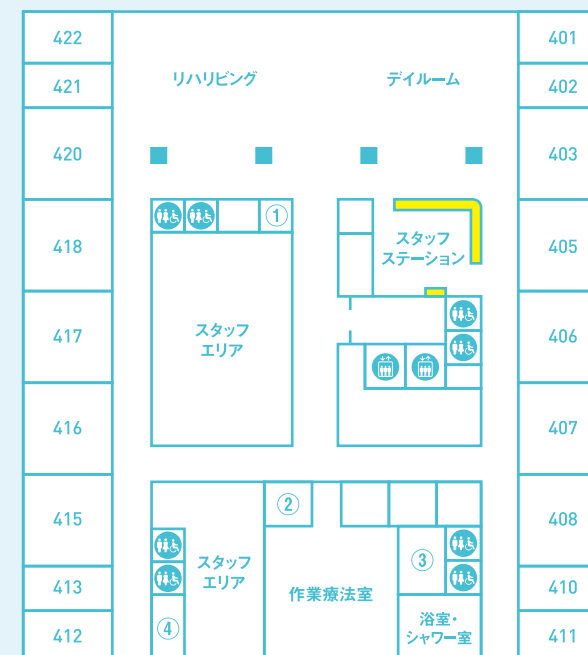
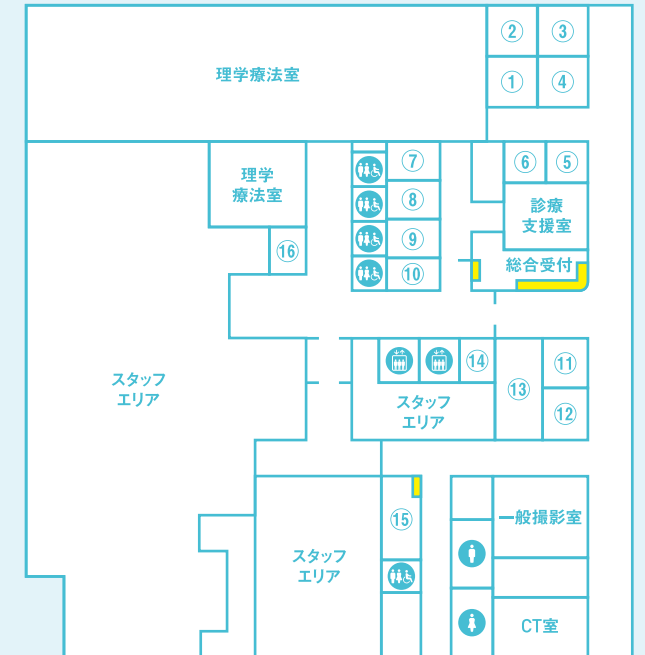
1日の疲れをとります。

Floor Guide フロアガイド〈3～5F〉

3F

- 総合受付
- 理学療法室
- 診療支援室
- 一般撮影室
- CT室

- ①言語聴覚療法室1
- ②言語聴覚療法室2
- ③言語聴覚療法室3
- ④言語聴覚療法室4
- ⑤相談室1
- ⑥相談室2
- ⑦診察室2
- ⑧処置室1
- ⑨診察室1
- ⑩感染前室
- ⑪診察室3
- ⑫診察室4
- ⑬処置室2
- ⑭授乳室
- ⑮検体検査室
- ⑯栄養指導室



4F

- 病室…401号室～422号室

- リハビリング
- デイルーム
- 作業療法室

- ①相談室
- ②面談室
- ③コンセントレーションルーム
- ④シャワー室

5F

- 病室…501号室～522号室

- リハビリング
- デイルーム
- 浴室

- ①相談室
- ②面談室
- ③シャワー室

